

岡山県倉敷市

〒710-8565 倉敷市西中新田640
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/>
 担当課: 倉敷市保健所 保健課
 ☎086-434-9823 FAX086-434-9805
 e-mail hltmen@city.kurashiki.okayama.jp

本市のデータ

(1)面積 354.72km² (平22.10.1)

(2)人口(人)

12国調	17国調	22国調	平23.3.31住基
460,869	469,377	475,421	475,040
65歳以上人口比率(平23.3)			22.2%

(3)世帯数

12国調	17国調	22国調	平23.3.31住基
161,542	173,884	183,170	191,468

(4)沿革

昭和42.2.1	倉敷市・児島市・玉島市が合併
昭和46.3.6	都窪郡庄村を合併
昭和47.5.1	都窪郡茶屋町を合併
平成17.8.1	浅口都船尾町,吉備郡真備町を合併

(5)就業人口比率

一次産業	二次産業	三次産業
2.7	33.4	61.7

(6)有権者数

男性	女性	合計
183,610	196,994	380,604

(7)職員数

3,409人(平23.4.1現在)

うち一般行政職1,622人(平23.4.1現在)

(8)議員定数

43人(平23.4.1現在)



健康くらしき21キャラクター



こころの健康づくりキャラクター『ほっとちゃん』

本市の概要

- <キャッチフレーズ> 「自然の恵みと ひとの豊かさで 個性きらめく倉敷」
- <市の木> くすのき
- <市の花> ふじ
- <市の鳥> カワセミ
- <地域指定> 特土, 離島
- <名所・旧跡> 倉敷美観地区, 大原美術館, 鷺羽山, 瀬戸大橋, 円通寺, 王子ヶ丘, 象岩

- <主要な施策・事業> 都市再生整備計画推進事業
 中心市街地活性化推進事業
 ごみの減量化推進事業
 地球温暖化対策推進事業
 企業誘致推進事業
 水島コンビナート競争力強化事業
- <ユニークな施策・事業> 「倉敷なんでもコール(コールセンター)」の運営事業
 子育て情報発信化事業
 美観地区夜間景観照明(ライトアップ)
 大山名人杯倉敷藤花戦
 倉敷国際トライアスロン大会
 瀬戸内倉敷ツーデーマーチ
 巡・金田一耕助の小径
 「記念日をすごすまち 倉敷」事業
 旧街道景観整備事業

倉敷美観地区や国産ジーンズの聖地・児島, はたまた瀬戸内海のキレイな景色を堪能…, 四季折々の「倉敷」に, 皆様



倉敷市長 伊東香織

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

倉敷市の自殺率は, 全国より低い, が, 平成21年は, 前年の77人から98人と過去最高数となった。年代的には, 働き盛りの男性の自殺者が多い傾向にある。自殺の原因・動機(警察庁調べ)は, 健康問題, 経済・生活問題, 家庭問題, 勤務問題であるが, 本市においては, 経済・生活問題, 家庭問題, 勤務問題の占める割合が数%高くなっており, 健康問題は約10%低くなっている。このことから, 自殺対策は保健所での取り組みでは限界があり, 関係機関と協働で取り組んでいる。働き世代のメンタルヘルスを協働ですすめる体制づくりや心の健康づくり, 自殺予防に対する理解の深化を目標に推進している。

<具体的な取組み>

別添資料をご参照ください。

倉敷市自殺対策の概要

平成21年度

平成22年度

倉敷市自殺対策連絡会議

第1回会議（市役所内の関係者会議）

*倉敷市も含めた自殺の現状を話題提供

第2回会議（市役所内外の関係機関会議）

*自殺の動向を話題提供
*各関係機関の活動内容を情報交換
*ディスカッション

第3回会議（市役所内の関係者会議）

*今年度自殺対策取り組みの振り返り
*情報交換 *ディスカッション

具体的な取り組みへ

第1回相談対応研修会開催

市役所内窓口職員のスキルアップを目的に開催

相談窓口一覧・対応簡易マニュアル作成

自殺予防の視点を持って、適切に相談対応を行い、確実に適切な窓口につなげる事ができるよう、市役所の全職員が活用しやすいものを作成。

今後の取り組みの方向性

① 人材育成

自殺予防の視点で、市役所の各部署にある窓口で相談対応ができるよう、窓口職員のスキルアップが必要。

② 情報の一元化・マニュアル作成

（倉敷市版）関係機関情報の一覧や相談対応における連携ルートなどのマニュアルを全

第1回会議（市役所内外の関係者会議）

※厚生労働省の自殺対策5本柱に基づき、各機関での取り組みや課題を情報交換。

各機関の枠を超えて、自殺に至らないよう、本人が抱えている様々な問題解決のための生活支援を総合的にを行い、その仕組みづくりを連携の中で具体化していくことの必要性を共有。

緊急招集第2回会議（市役所内の関係者会議）

※平成21年の倉敷市の自殺者数が過去最高数になったことを受け、会議開催。今回会議より納税課がメンバーに加わる。
*ディスカッション テーマ：『連絡会議を機能させ、自殺対策を全庁的に波及させていくために必要な方策』

会議から得られた課題

- ① 連携・ネットワークのシステム化
- ② 窓口対応で市民のサインをキャッチするためのスキルアップ
- ③ 職員のメンタルヘルス面でのフォローをどうしていくか
- ④ 実際に機能させるための会議のあり方

第3回会議（市役所内の関係者会議）

※第2回会議で明らかになった課題について、市役所一丸となって取り組める対策を検討。
*国の自殺対策の動向*先進地の自殺対策*ディスカッション

主な意見

・自殺対策推進担当者（仮称）の配置を検討してはどうか。
・部長級等の幹部会と現場レベルの対策別分科会方式の両建て会議の検討。
上記2つより、職員のスキルアップやメンタルヘルスのフォローの方が優先順位の高い部署もある。

今後の方向性

生活支援を総合的に取り組む方策とは・その具体化が必要。関係機関が、有機的なネットワークをまず、構築する必要がある。

左記①～④の課題を具体的に解決する取り組みが急務である。職員のメンタルヘルスのフォロー体制整備や市民対応のスキルアップなどの、内部の取り組みから実施し、ゲートキーパーとしての市役所機能の発展を目指す。

その他の取り組み

倉敷市自殺予防講座

テーマ：考えよう ひとりの命 大切な命 ～気づきと絆～

平成21年11月28日（土）マービーふれあいセンター

講演「伝えたいこころの健康～うつを生きる～」俳優 萩原流行氏

自殺予防シンポジウム：萩原氏・弁護士・産業医・保健所長

参加者：434名

各種相談・面接相談事業
専門医による、心の健康相談、アルコール・薬物・ギャンブル相談
保健師等による電話・面接相談

継続実施

倉敷市自殺予防講座

参加者：511名

テーマ：わたしの、あなたの、みんなの大切な命～今日から私たちができること

平成22年9月22日（水）ライフパーク倉敷

トークショー「うつを生きる～家族からのメッセージ～」女優 寿美 花代氏

講演「一人の命を大切に！自殺予防のためにできること」講師 西原由記子氏

各種相談・面接相談

専門医による心の健康相談、アルコール・薬物・ギャンブル相談実施。保健師等による電話・面接相談実施。

自殺未遂者・自死遺族に対する支援

救急医療機関・警察署・消防署等へ、心の健康相談窓口周知を図った。また月1回開催される備中保健所のわかち合いの会へ毎回参加し、支援体制のあり方を検討した。

職域・高齢者向け啓発活動

商工会議所青年部や、高齢者支援センター職員などに自殺予防に関する健康教育を実施。

12会場 のべ 495名参加

一般市民向け啓発活動

9月の世界自殺予防デーや自殺対策100日プランに合わせて全市的に、啓発活動を展開。愛育委員会等での啓発やメディアを活用しての啓発実施。

140回 のべ 4,468名参加

自死遺族に対する支援
岡山県が平成22年度から分かち合いの会を開催。（県内3カ所）岡山県備中保健所では試行的に2月に開催。

新規

一般市民向け啓発活動

9月の世界自殺予防デーや自殺対策強化月間に合わせ、全市的に啓発活動を展開。愛育委員会等での啓発やメディアを活用しての啓発実施。

97回 のべ 3,934名参加

職域・高齢者支援者向け啓発活動

商工会議所青年部や、高齢者支援センター職員、介護保険事業所職員などに自殺予防に関する健康教育を実施。

9会場 のべ 253名参加

また、新たな連携先の発掘として、社会奉仕団体「ロータリークラブ」に対して、自殺予防の取り組みの重要性について働きかけた。

2会場 のべ 41名参加

相談窓口の周知（拡大）

各地区愛育委員会等の協力を得、緊急速報チラシを全戸回覧。心の健康相談・多重債務相談窓口紹介カードを、コンビニ・ネットカフェ等の店舗、図書館等の公共機関等、約300機関へ配置。

心の健康づくり対策 ～ 早期発見・早期治療 ～ 未遂者・遺族対策

平成 23 年度 倉敷市自殺対策の概要(主に新規事業)



1 ネットワークづくり・基盤整備事業

1) 継続実施

倉敷市自殺対策連絡会議：市内関係機関が一堂に会し、機関同士の連携強化を図り効果的な自殺対策を展開することを目的に設置。自殺対策に関する地域の 17 関係機関と市役所内 20 部署の会議員で構成している。今年度は 10 月 27 日に開催予定。(会議内容については、別紙参照)

2 心の健康づくり対策(一次予防活動)



内閣府マスコットキャラクターひつじちゃん

1) 継続実施

別紙の取り組みについては継続実施中。

今年度の倉敷市自殺予防講座

テーマ「一人ひとりの思いがいのちをつなぐ絆になる」～私たちにできること～

平成 23 年 11 月 3 日(木) 14:00～15:30

講演「生きる力をつける処方せん—自殺予防のためにできること—」

講師 香山リカ氏 (精神科医・立教大学現代心理学部映像身体学科教授)



香山リカ氏

2) 新規事業

倉敷市誰でもゲートキーパー大作戦

ア 地域のゲートキーパー育成

国においても、専門家以外にも「ゲートキーパー」の意識を持ってもらい、一般国民も自らゲートキーパーであるという意識を高める運動を重点対策としている。悩みを抱えたときに身近に相談できる存在がおり、孤立・孤独を防ぎ、市民一人一人が気づきあえる地域づくりへの足がかりとして相談窓口カードを媒体とした、ゲートキーパー育成を実施。

*地域のゲートキーパー

ゲートキーパー	人数	備考
愛育委員会連合会	約 4,000 人	各学区で自殺問題、窓口カードの活用について保健師を講師に研修。1 月以降は睡眠についても研修予定。窓口相談カード全員携帯。
民生委員・児童委員	約 700 人	精神障がいやメンタルヘルスについて各地域で研修会実施。窓口相談カード全員携帯。
高齢者支援者(高齢者支援センター、ケアマネジャー等)	約 300 人	市内 6 会場で高齢者のメンタルヘルス・自殺問題で研修会実施。窓口相談カード全員携帯。
その他(人権擁護委員、知的・身体障がい者相談員、心ほっとサポーター、商工会議所)	約 200 名	相談窓口カードの携帯依頼及びメンタルヘルスに関する研修会実施。

イ 庁内ゲートキーパー育成

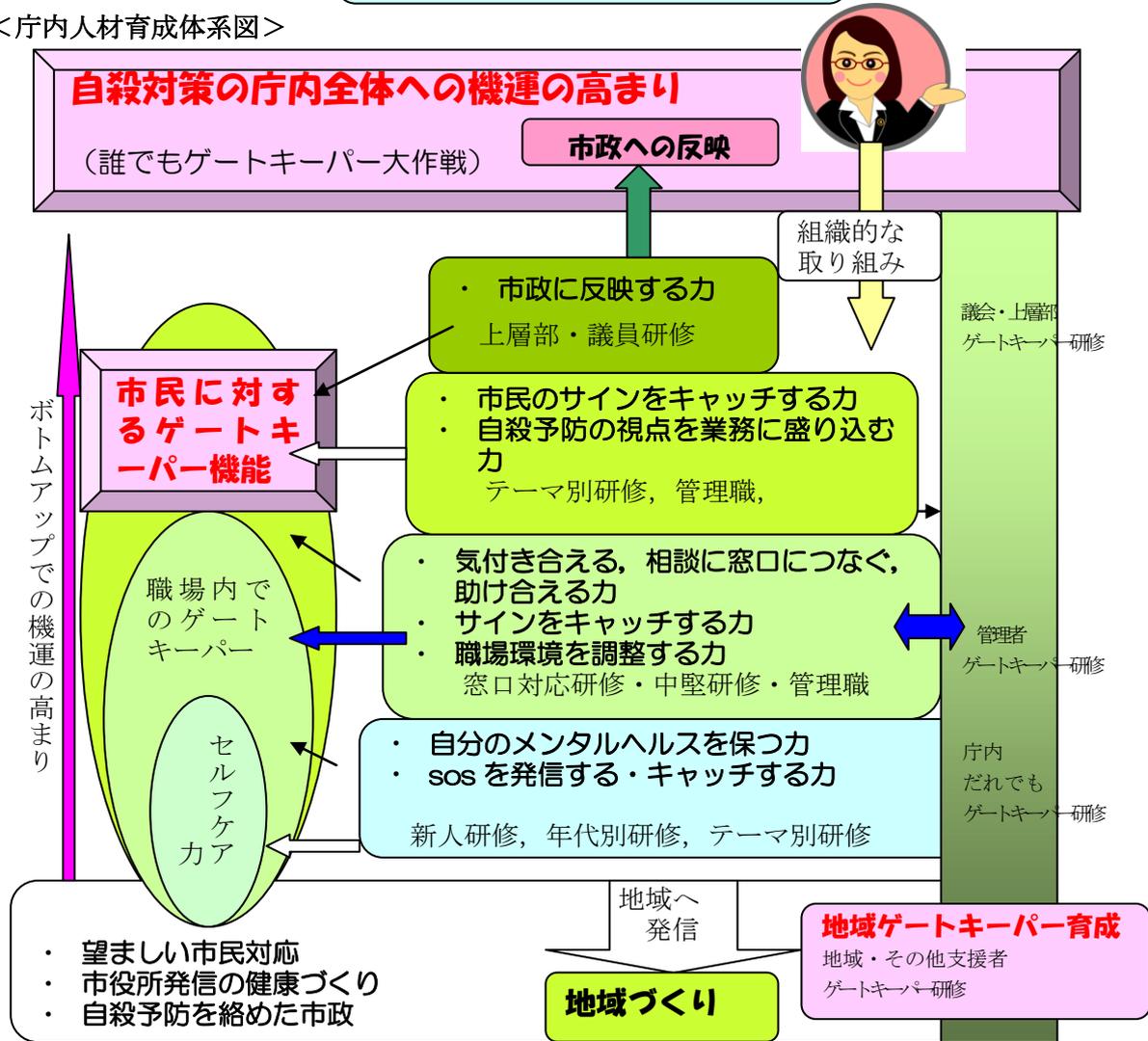
<目的及び背景>

倉敷市自殺対策連絡会議において、職員の市民対応のスキルアップが必要であり、職員のメンタルヘルス問題は市民サービスの低下を招く恐れがあるという意見を受け、市職員がメンタルヘルスについて理

解を深め、セルフケア力を向上させると同時に、市民対応を軸としたゲートキーパーとしての役割が担えるよう人材育成することを目的とする。

**市民に対するゲートキーパー機能へ
市役所機能強化！！**

<庁内人材育成体系図>



***平成 23 年度実績および予定**

日時	項目	参加者	内容
7/19	議会・幹部職員 ゲートキーパー研修会	市議会議員, 幹部職員 (次長級以上) 110 人	講演: NPO ライフリンク・内閣府参与 清水康之氏
9/5 9/6	心とからだの 健康づくり研修	30 歳代職員 30 名	睡眠について (内部講師)
10/28 10/31	管理者研修 (予定)	所属長	職場のメンタルヘルス 講師: 産業カウンセラー 産業医 (内部講師)
11 月	相談対応研修 (予定) 初級編 応用編	全職員	自殺予防の視点をもった相談対応について 講師: 岡山県精神保健福祉センター

* 早期発見・早期治療対策及び未遂者・遺族対策については継続実施中。(別紙参照)